

# 劇場で考える ～これからの家族～

## 参加者募集

久留米シティプラザで7月に上演する『恋はみずいろ』は、特別養護老人ホームを舞台に、岡山県奈義町に住む人々がさまざまな家族を演じます。久留米市では近年、一世帯当たりの人数の減少、高齢者の単独世帯の増加などが進んでおり、家族の在り方が変化していることがわかります。一方で、社会における家族という概念 一家族像や、家族の中で期待される個人の役割など―はどれほど多様性を含んでいると言えるのでしょうか。このレクチャーでは『恋はみずいろ』の作・演出の菅原直樹氏と、“血縁だけが家族じゃない”として、久留米市内で子育て拠点「じじっか」を開設、運営する中村路子氏を迎えて、それぞれの立場で考える「家族」についてお話しいただきます。一緒にあるべき未来像を考えてみませんか？

# 2025. 5. 24 (土) 14:00 ～ 15:30

**会場** 久留米シティプラザ 中会議室 (久留米市六ツ門町 8-1 4 階)

**料金** 無料 (要申込)

**定員** 30 名 (先着順)



**申込方法** 次の内容を記載して電子申請・郵送のいずれかで、お問合せ先までお申込みください。

■氏名 (ふりがな) ■住所 ■メールアドレス ■電話番号 ■プレレクチャー参加希望

※電子申請には、下記 URL か二次元バーコードからアクセスください。

<https://shinsei.pref.fukuoka.lg.jp/zXxwD1DJ>



※参加者の個人情報については、当事業のために使用し、その他の目的には使用しません。

〈お問合せ〉久留米シティプラザ 事業制作課 / 〒830-0031 久留米市六ツ門町 8-1

e-mail : kcp-j@city.kurume.lg.jp TEL : 0942-36-3000 (10:00~19:00 休館日を除く)

締切

5/23

(金)

### ゲスト

#### 菅原直樹

(「老いと演劇」 OiBokkeShi 主宰、劇作家、演出家、俳優、介護福祉士)

1983 年栃木県宇都宮市生まれ。四国学院大学非常勤講師、美作大学短期大学部非常勤講師。平田オリザが主宰する青年団に俳優として所属。2010 年より特別養護老人ホームの介護職員として勤務。2012 年、東日本大震災を機に岡山県に移住。2014 年「老いと演劇」 OiBokkeShi を岡山県和気町にて設立し、演劇活動を再開。並行して、認知症ケアに演劇の手法を活用した「老いと演劇のワークショップ」を全国各地で展開。2016 年より活動拠点を岡山県奈義町に移す。

#### 中村路子

(一般社団法人 umau. 代表)

1981 年久留米市生まれ。大学 3 年と大学 1 年の 2 児の母。女性が好きなことを仕事にするコワーキングスペースや、小さなエリアで地域を考える「くるめ 10 万人女子会」などを展開。2020 年子育て拠点「じじっか」を立ち上げ、一般社団法人 umau. (ウマウ) を設立。久留米市を中心に地域活動のプロデューサーとして、コミュニティを育み続ける。「『できること』が増えるより『楽しめること』が増えるのが、いい人生」が理念。気さくな性格から、みんなに「みっちゃん」と呼ばれている。

### 進行

#### 長津結一郎

(九州大学大学院芸術工学研究院准教授)

多様な関係性が生まれる芸術の場に伴走／伴奏する研究者。専門はアート・マネジメント、文化政策。著書に『舞台の上の障害者：境界から生まれる表現』(単著。九州大学出版会、2018 年)。

#### 【公演情報】

知る／みる／考える 私たちの劇場シリーズ vol.7

「老いと演劇」 OiBokkeShi 『恋はみずいろ』

特別養護老人ホームを舞台に、〈母親とのわかりあえなさ〉に思い悩む息子、〈信頼〉を巡って母親の“友人”に不信感をあらわにする娘などが登場し、家族という他者とのコミュニケーションのあり方について問い、〈相手を受け入れる〉までの道のりを描いた演劇作品。

日時 | 2025 年 7 月 5 日 (土) 17:00 開演、6 日 (日) 14:00 開演  
〈上演時間 90 分程度 (休憩なし)〉

会場 | 久留米シティプラザ C ボックス

チケット発売 | 5 月 17 日 (土) 10:00 ~

